



新宿小だより

令和6年3月学校評価及び保護者アンケート結果 特別号

学校教育目標

やさしく
かしこく
たくましく



ホームページQRコード

令和5年度保護者アンケート調査結果について

昨年12月に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。遅くなりましたが、結果のご報告をいたします。(回答数276件)

【A:当てはまる B:大体当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない E:わからない】 (%)

No	評価項目	A	B	A+B	C	D	E
1	お子様は、学校に行くのを楽しみにしている。	38.8	49.3	88.1	7.9	3.8	0.2
2	お子様は、自分の学級が楽しいと言っている。	48.2	39.9	88.1	7.2	2.3	2.4
3	お子様は、仲のよい友だちがいる。	65.2	27.2	92.4	3.9	0.3	3.4
4	お子様は、先生に相談できる。	26.4	43.1	69.5	17.4	5.9	7.2
5	お子様は、授業を理解している。	35.9	53.6	89.5	5.5	1.7	3.3
6	お子様は、新宿っ子3つの柱「笑顔で挨拶」「温かい言葉遣い」「黙々清掃」ができている。	21.4	58.0	79.4	12.0	2.0	6.6
7	学校の教育活動に満足している。	33.0	55.1	88.1	6.0	0	5.9
8	学校は、学年学級の教育活動充実に努めている。	30.9	57.5	88.4	2.1	0.1	9.4
9	学校は、「一人一人が輝き、ともに伸びゆく」授業や活動の実践に努めている。	26.1	55.4	81.5	6.7	0.2	11.6
10	学校は、個に応じた指導の充実に努めている。	25.7	52.5	78.2	9.4	0.8	11.6
11	学校は、家庭や地域との連携により特色ある教育活動の充実に努めている。	30.1	53.3	83.4	6.6	0.2	9.8
12	学校は、豊かな心を育成しようと努めている。	27.2	54.3	81.5	6.1	0.4	12.0
13	学校は、児童が健康で安全な生活ができるよう努めている。	37.7	53.3	91.0	2.7	1.1	5.2
14	学校教育目標「やさしく・かしこく・たくましく」を知っている。	67.4	26.1	93.5	3.9	1.0	1.6
15	学校の教育活動に参加または協力している。	29.0	57.6	86.6	8.0	2.9	2.5
16	学校は、保護者が参加しやすいよう行事等を工夫している。	29.0	56.9	85.9	7.0	3.8	3.3
17	学校は、教育情報提供や家庭への連絡を積極的に行っている。	35.9	50.7	86.6	7.1	2.7	3.6
18	学校は、保護者や地域の願いに応えている。	23.9	58.0	81.9	8.0	1.0	9.1

- ・特に、「4 先生に相談～」「6 新宿っ子3つの柱～」「10 個に応じた指導の充実～」の項目について職員で共有し、指導の工夫改善につなげていくよう努めます。
- ・「わからない」という回答が多くありましたので、学校の教育活動が見えづらい点については、行事への参加や協力が得られるような工夫や、積極的な情報提供をさらに進めていきます。今後もぜひ保護者や地域の皆様のご協力をぜひよろしくお願いいたします。

<教育活動全般に関するアンケートについて>

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。教職員の対応についてお褒めいただいたものも多数ありましたが、下記はご意見等の一部を集約したものです。教職員で共有し、引き続き工夫・改善に努めます。

・クロムブックの持ち帰りが重い。	⇒	・教材の持ち帰りを学年の実態に合わせて配慮します。
・もっと体を動かすことを取り入れ、体力向上を!	⇒	・年間を通じた体力向上を目指し、体育や運動行事等の工夫改善を行います。
・毎日同じ日課にしてほしい。	⇒	・次年度は日課表を刷新しますので、毎日同じ時間の流れで過ごせるようになります。
・放課後の子どもの遊び方や行動で心配な場面を見かける。以前、仲間外れになることがあった。	⇒	・情報を共有しながら、指導を進めます。子どもたち一人一人の活動に気を配り、早めに声かけします。

学校評価について

教職員による自己評価及び学校運営協議会委員による関係者評価がまとまりましたので、ご報告いたします。また課題につきましては、改善策をたて、教育活動の一層の充実に努めて参ります。

- | | |
|---------------------------------|---------|
| A：よくできている。特に課題は見あたらない。 | ○良いところ |
| B：概ねできているが、課題も少し見受けられる。 | ●課題 ・意見 |
| C：あまりできていない。課題も多く見受けられる。 | ☆改善案 |
| D：できていない。課題が多く、解決には相当の努力が必要である。 | |

領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見	
組織・運営	1	学校は特色ある学校づくりを目指しPDCAサイクルのもと、学校行事や学級経営、教科経営、分掌経営にあたり、学校教育目標達成に向けて組織的に取り組んでいる。	B	○企画委員会等で話し合いをするようになって、異学年のことが分かったり、意見交換ができた。 ▲☆学年・学級で掲示物が違うことが分かったので、揃えていけるとよい。 ☆今年度立ち上がった「ほかほか教室」は、管理職だけでなく、「教育相談部」や「特別支援教育部」として運営するとよい。 ☆今年は算数中心で研修したが、他教科を学び合う場や学級経営を学ぶ場があるとよい。	A	
	2	学校は倫理確立委員会を機能的に活動させ、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事を根絶させるために取り組んでいる。	B	☆より具体的な事例を上げて、みんなで改善方法を考えるのもよい。 ☆倫理確立委員会の内容を委員以外の職員にも共有する時間を全体で取る。	A	・No.12とあわせて、みなさんがよくなっています。
	3	学校は災害や事故等のマニュアルを作成、迅速に対応できる体制を整え、同時に、内容を教職員に周知させている。	B	○様々な場合を想定して訓練ができている。 ○職員室の目立ちやすいところに掲示してあるので安心感がある。 ▲改善や訂正の後で共有する時間がない、もしくは周知されていないと感じる。 ☆アレルギーの救急搬送の事例を経験し、マニュアルがあってもそれをもとに誰がどのように動くのか、本当にそれができるのかを検証する必要があると感じた。 ☆災害時など迅速に対応できるよう定期的に教職員間で動きの確認を行うべきだと思う。	A	
	4	学校は組織的に環境美化に努めるとともに、施設設備の適切な管理を行っている。	B	○校長先生を中心に空き教室を整理していただき、置き勉強場の場所等を確保していただいた。 ▲机の横に沢山の荷物をかけたりロッカーの中が乱雑になったりしがちである。 ▲☆掃除が行き届いていないところがあるので、学年間で見合うなど、多くの教員の目で見られるとよい。 ☆今年は様々な場所が整理されたが、子供の荷物の管理（置き場所）や教室内の保管方法を見直したい。	A	○教職員、児童、保護者、地域の方、それぞれが手入れをしていると感じます。 ○自治会行事の集団資源回収（月1回）やごみゼロ運動に親と一緒に参加している。
教育課程・学習	5	学校は教育課程の編成・実施・評価を通し教育活動の充実改善を行っている。	B	○教育課程の検討をして、より良いものとしてしようとしている。 ☆働き方改革もかねて、精選・検討していく必要がある。	A	
	6	学校は、個に応じた指導を行うなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る工夫をしている。	A	・算数コース別学習や少人数の計画をきちんとしたい。 ☆個に応じた指導で使ったプリント等を共有して、他の児童にも活かせるようにしたらさらに効果的になると感じる。	A	・ほかほか教室の実施例、効果等を聞きたい。

	7	学校は川越市小・中学校学力向上プランを踏まえ、児童生徒の思考力判断力、表現力の育成のために、授業改善に取り組んでいる。	B	○川越授業スタンダードに沿って、授業を行っている。	A	
	8	学校は学習ルールを定めて落ち着いた授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	○企画会等で丁寧に検討している。 ・学校のルールは定期的に確認をする必要がある。	A	○今日やること、終わりが分かる授業は良い。 ○学校での落ち着いた授業の延長線で地域でも新宿小児童は落ち着いている。
	9	学校は、児童生徒の体力向上に向け、児童生徒が体育や部活動・外遊びに意欲的に取り組むよう指導している。	B	○コロナ禍で大人も子どもも体力が落ちている中、新宿っ子体操など、工夫して体力向上に取り組んでいる。 ▲時間が確保できない。 ▲読書と外遊び、その他活動が多くあり、児童への声かけが難しいと感じることがある。 ☆児童が遊びの種類を知らないと感じる。もっと外遊びの種類を伝えていくとよい。 ☆学校全体で取り組める体育活動を入れるなど、指導していく必要がある。	A	
生徒指導	10	学校は児童の豊かな心を育み、適切な指導を行っている。	B	○学年のトラブルなどがあった際、管理職に相談し、一緒に考えていただけるのが、とても助かっている。	A	○No.17の内容も豊かな心に繋がると思う。
	11	学校は児童の主体的な取組を重視し、規範意識を高める指導を行っている。	B		A	・やりなさいと押さえつけるより、自信を持たせる方が、後の伸びが大きい。
	12	学校は、いじめや差別を許さない態度を育成し、児童生徒が生命の大切さを学びお互いの良さを認め合える指導を行っている。	A	○いじめアンケートを実施し、担任等が児童の声をひとつずつ拾い上げて解決に向けて取り組んでいる。	A	・家庭はもちろん、日頃の違いに気づける周囲の方々の協力も必要。学校アンケートもしていただいているが、何らかの形で早期に対処できると良い。
家庭・地域との連携	13	学校は、開かれた学校づくりを目指して、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	B	○かかやきボランティア（学校応援団）の整備があったため。	A	
	14	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。	A	○ゲストティーチャーなど積極的に取り入れていると感じる。 ○登下校の見守り、除草作業、トイレ掃除、ミシンボランティアなど、多岐にわたって協力を得ている。	B	
	15	学校は、家庭・地域と連携協力し、児童生徒の課題解決を図っている。	B	○お便りやメール配信だけでなく、電話等で家庭との連絡を取っている。	A	
学校の重点目標を	16	学校は、学校研究として「個別最適な学びと協動的な学びを実現する算数授業」	A	・今後継続していくために、実践内容を精選していく必要がある。	A	

	の実践・工夫・改善に努めている。				
17	学校は、「新宿っ子3つの柱+1」（笑顔であいさつ、温かい言葉遣い、もくもく清掃+廊下歩行）が子供達に定着するよう努めている。	B	<p>▲特に挨拶が課題であると感じる。朝と帰りの挨拶のみならず、すれ違うたびに挨拶を交わす学校もある。それくらい活発に挨拶ができる新宿小になってほしい。定着するための取り組みが必要。</p> <p>▲清掃について 先生方の意識の差が感じられる。きちんと全員が黙々清掃を意識した清掃の指導をすべきだと思う。</p>	A	<p>○定着していると思う。</p> <p>○新宿小の児童は、あいさつがきちんとできている。</p>
18	学校は「ふるさと学習」として、地域や川越に関する学習を積極的に取り入れ新宿小学校の児童、川越市の児童としての誇りを育てている。	B	<p>▲☆低学年ではなかなかふるさと学習と取り入れられていない。博物館見学や図書館見学など、市の施設の見学を一年生から取り入れてみたい。</p>	A	<p>・お国自慢は、社会に出てからも人と話すきっかけになる。ガイドブックにはない地域の方の話は興味がある。</p>